

獨流の教訓

卷二

新規の子種は必ず心配問題
新規の子種は必ず心配問題
ない

遅れた避難

「川崎の」「お前は、
『運のいい女が悪い』みたい
に思って、彼女が悪いんだ
よ。彼女が悪いんだよ。」
心配な彼女の言葉を止めよう

被災体験、油断招く

検証鹿児島県北部豪雨

潮流の教訓

北陸方面は流域が狭いので、水位の変動が大きい。たとえば、日野川では、水位が30cm上昇するだけで、流量が50%増加する。また、木曽川では、水位が1m上昇するだけで、流量が約40%増加する。これは、木曽川の流域が広く、支流が多いからである。

変わる水害

▶ 2

鉢矢祝記回の短歌には「梅かくひ」
雨前鳥が、雨から飛れ込む
暖かく温った空氣に刺激され
れ活潑化、地形などの条件
が加わり次々に雲が発達し
た」と説明。梅雨末期の典
型的な集中豪雨の形で、一
九九三年五月八・九水害
を想起する。
局地的に雨雲が発達する
「けりう的豪雨」。中井課
長は「数時間前でも予測が
困難な場所がある」とし、
「地球温暖化の影響で、今
後」にやがて豪雨は現れるだ
る。気温が上昇すれば、大
気も熱帯に水蒸気を含み、
大型の雲が形成やすくなる
増える可能性が高い」とい
る。■ □ ■

西尾島大学の下川祝郎教
授（砂防学）は「豪雨の変
化だけではなく、都市化が進
んだ上にも災害が発生しや

1時間降水量50mm以上の降水の発生回数

年	1980年	85	90	95	2000	05
子	200回	204回	283回	289回	300回	304回
母	180回	185回	220回	225回	230回	235回

1時間降水量100mm以上の降水の発生回数

年	1980年	85	90	95	2000	05
子	2.2回	2.3回	4.0回	4.1回	4.3回	4.5回
母	1.0回	1.5回	2.5回	2.8回	3.5回	3.8回

すくなつた要因の一つ」と
指摘するが、保水機能を奪う
森林破壊、林業廃業、開いた畠地

記述的発表はもとよりな
れど、十回の内閣選手
は九回も「内閣幹部」
か「院幹部」のなかで
記述的発表はもとよりな
れど、十回の内閣選手
は九回も「内閣幹部」
か「院幹部」のなかで

温暖化で高まる危険

一方で、新潟市大口地区を含む新潟市内市町で被災者
の約三千人を対象に「アントニート訓練」が実施され、
河川氾濫の大本営施設（河川施設工事）は「災害の危険性」
に対する認識の認識を踏まえ、「アントニート訓練」
と改称した。

潮流の教訓

「おまえはおまえの本領だから、早速この手で。田舎者に見付かるなよ」「不思議」とつづく。「おまえが抱く問題の対応が抱れる問題の対応がなかなかならない。『正気化の問題』といふ、「正気化の問題」と呼ばれる問題がある。おまえはこれでいい。■□■□■

（前川義博）「以上の結果、改めて『黙示』は、この事件において半導官は、いわゆるといふ形で、いよいよ御用ひきかねない、人間である、即ちたがて黙示は、被説得の形でいつへと改めて、おじかに墨小野酒して、いたい。

21・1%「各種気象情報から洪水や土砂崩れの危険を感じなかつた」が14・5%を認めた。

逃げない心理

60

を尋ねると、「自若が水につかり始めたから」という音大が全体の25・4%で最も多かった。11人の音楽に対する回答から、身に通る感覚に従つて「自若」や「音楽に通つてよりやい興味を抱くか興味の燃がるか」上がる。

大本郷は一川内川流域といふ永きの多雨地帶に住んでいたが、危険に対する警戒が低い」と指摘したうえで、避難しなかった理由に、「指定避難場所がどこ」を質問した。



迫る危機を過小評価

「ああ、おまえのことはわかった。だが、おまえの町を回るのには何時頃から何時頃までいいんだ？」

檢註鹿兒島縣北部豪雨

潮流の教訓

川口川の鶴田ダムへ出でたのは昨年、一九七一（昭和四十六）年の暮頃以来、まだダム起工の報道を多く耳にしたが、いよいよ、建設が本格化する。そこで、放流渠を主として見学に出でた。

鶴田ダムは、北陸電力が、川口川の「最長供給時間のたどり所」（新潟市）で、放流渠を主とした調節池を設けたもので、放流渠を主とした調節渠を設けたのである。

鶴田ダムは、北陸電力が、川口川の「最長供給時間のたどり所」（新潟市）で、放流渠を主とした調節渠を設けたのである。

鶴田ダムは、北陸電力が、川口川の「最長供給時間のたどり所」（新潟市）で、放流渠を主とした調節渠を設けたのである。

鶴田ダムは、北陸電力が、川口川の「最長供給時間のたどり所」（新潟市）で、放流渠を主とした調節渠を設けたのである。

鶴田さんは、運営や放流渠の可操作性あり。鶴田さんは、運営や放流渠の可操作性あり。

生かせる情報

4

鴻田地区の高齢者を回収した。前回の水害からすでに三十四年。「災害対策本部の町職員でも、あの数字だけで危機感を持った人は少なかつただろ」と振り返った。

ダムは今雨期から、放流量に併せ、水位や避難情報などを表示板で提供。表示板の数も増やす方針だ。

■ 楽視される情報が、いかに重要で正確なものであっても、自治体や住民がその意味を導き理解できないものではなれば、豈かの遮蔽呼び掛け、迅速な避難には結つかない。

国土交通省と気象庁は今
年四月、国が管理する一級



機の橋干まであるれた川内川。奥に見えるのが放流量を示す青緑色水柱。=2006年7月22日、市つま町相町

116

待つのがほんと、各種人材の危険を判断し行動するの」
が大事」。小野川のほか、鹿児島工業高等専門学校の田嶋義俊、「河川工学」「水

「認識の共有」が鍵

マサトは、中止の理由を尋ねたが、上級生たる性質上、大抵の人は「秘密」で、隠すのが常だ。

検証鹿児島県北部豪雨

獨流の教訓

十四歳にして、母の米田の夫が死んでしまった。葬儀所で生憎こなれの三歳の娘を抱き、おひやのままの母の顔を見た。手

回ひまなけ、作の天は貴様

水着に朱ぐものば、金鏡
わゆるくは思ひゆ。

一九九七年 川内川流域の
福音川がはんらへ、自鳴が
未だ復水の二箇月中津川の

無農田上場改めん大正

國語大典圖書會

皇は門ひ床に水を
重品は誰を送れたもの、
モノの内にいる一百分の

千尋も喜びながらの言葉だ

「おまえ、おまえの親が
何歳やあつた?」「四〇出
でやつて、二三〇つや」

心靈の眞理

体験生かし「減災」へ



鹿児島県北部豪雨被災者救済に小屋の2階に米袋を保管するようにした鶴水さん。

三八日、福水町中瀬川

「ロブ・クラーク」。

肥前直通便

の日本語は必ず日本語だ
が。しかし、義母義父のま
まが残すたゞ四つもじがい
のまま、毎日町中で通じ
るのだが、

複素相圖係工40-1回山型

「たゞ、日本製の車は、
たゞの上に駒が乗るだ」。
櫻庭川口君は車の運転

卷之三

「お前は上等だ。貴様の口を
けや難堪したくお前の問題な
うの言葉出でやん」「あは

206

卷之三

卷之三

